



2020年9月10日

教員養成4課程を一本化。教員養成機能のさらなる充実へ新たな挑戦！

2021年4月 愛知教育大学教育学部 改組のお知らせ

～確かな教職専門性と強固な分野専門性を兼ね備えた教員養成を目指します～

改組の目的

本学の教育学部は、従来、学級担任制と教科担任制の観点から各校種・分野に応じた教員養成を目的に、教員養成4課程を組織していました。

しかしながら、近年は「小学校における教科担任制導入」、「義務教育学校など新しい学校枠組みの導入」及び「多様性のある高校教育改革の推進」、並びに、「ICT活用やSDGs・STEAM等を推進する学習指導開発の充実」及び「発達障害のある児童生徒に対する教育支援の充実」など校種・分野に共通して学校教育における新しい取組への対応が求められています。

そこで、本学が目指す教員養成の実践力育成、現代的教育課題対応力育成といった重点事項に対して、全学の教職課程の枠組みの共通化の上で、各専攻が重視する専門性を積み重ね関連付ける一貫性を持ったカリキュラムとし、学校教育のニーズに合った専門教育を実現することを目的とします。

教育学部教員養成課程改組の概要

従来の学部組織

	課程	入学定員
教育学部	初等教育 教員養成課程	455名
	中等教育 教員養成課程	210名
	養護教諭 養成課程	30名
	特別支援学校教 員養成課程	40名
	教育支援専門 職養成課程	130名

2021年からの学部組織

	課程	専攻	入学定員
教育学部	学校教員 養成課程	幼児教育専攻	729名 (2年次 編入学定員 8名)
		義務 教育専攻	
		高等学校 教育専攻	
		養護教育専攻	
		特別支援 教育専攻	
	教育支援専門職養成課程		130名

* 2年次編入学は2022年度開始

- ・教員養成4課程を1課程5専攻に再編します。
- ・専攻ごとの枠組みについては、幼児教育専攻・義務教育専攻・高等学校教育専攻について学校種の枠組みを変更します。

改組のポイント

教員養成課程 共通

- ・課程を一本化し専攻を設けることで、目指す教員像に基づき体系性を持った教育課程を編成します。
- ・課程を一本化することにより、特別支援学校教諭二種免許状の取得機会を拡充します。
(幼児教育専攻、義務教育専攻、高等学校教育専攻の希望者が、特別支援学校教諭二種免許状(知的・肢体・病弱)を取得可能となります。)

幼児教育専攻

- ・従来の初等教育教員養成課程幼児教育選修では募集人員が25名でしたが、30名に拡大します。
- ・子どもたちが人生で初めて出会う「先生」として、健やかな子どもの成長を支える専門知識と実践力を備えた幼稚園教諭・保育士を養成します。

義務教育専攻

- ・従来の初等教育教員養成課程では小学校教諭免許を、中等教育教員養成課程では中学校教諭免許を卒業時に必ず取得すべき免許としていましたが、義務教育専攻としたことにより、小学校教諭免許と中学校教諭免許の2校種の免許を卒業と同時に取得することとし、募集人員は、555名とします。
- ・小学校のみの教科である生活科は生活・総合、中学校のみの教科である技術はものづくり・技術といった形で全ての教科・分野の専門において、義務教育9年間の見通しを持ち、発達成長段階に応じた指導のできる教員を養成します。

高等学校教育専攻

- ・従来の中等教育教員養成課程を独立・発展させた形で、新たに「高等学校教育専攻」を新設し、募集人員は74名とします。
- ・高校生の知的な学習に対話的な探究活動を含めたカリキュラムを編成することで、高校生の資質・能力を豊かに育むことのできる、教科の教育マネジメント能力をもつ教員を養成します。